

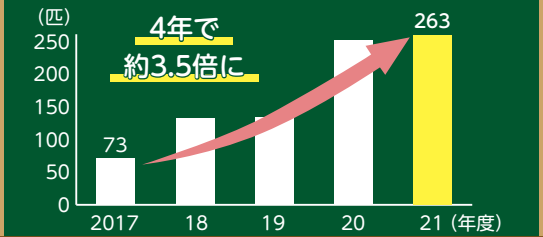
都市部にも
現れます！**アライグマ・ハクビシンの出没注意！**

近年、市内全域でアライグマやハクビシンの見かけたという情報や、自宅の屋根裏などに侵入されたという相談が増えています。

アライグマなどによる被害は、農作物だけでなく、建物の破損や屋根裏などのふん尿やかまれることで感染症が伝染する可能性があります。被害を防ぐための対策を紹介します。

問環境保全課 ☎245-5195 FAX245-5553

市のアライグマとハクビシンの捕獲合計数

**特徴****アライグマ**

尻尾に黒いしまが4～7本あるのが特徴です。主に夜行性ですが、昼間も活動することがあります。木登りが上手く手先が器用です。



©環境省提供

繁殖期は冬（1～3月ごろ）で、春先（4月ごろ）に出産します。

雑食で、果物や野菜など人の食べるものは何でも食べるほか、金魚やコイなどの魚も食べます。

ハクビシン

鼻から額上部にかけて白い線のような毛が生えているのが特徴です。夜行性です。手先は器用で、雨どいや柱などを登り、電線も渡ります。繁殖活動は年間を通じて行われます。



雑食で、果物や野菜などを好んで食べます。

対策

- 建物内への侵入口となる、軒下や通気口などの隙間をふさぐ。ハクビシンは大人の握りこぶしほどの隙間があれば、侵入できます。侵入口をふさぐ方法については、家を建てた工務店などにご相談ください。
- 屋根へ伸びる樹木は小まめに切る。
- 庭木の果実は、時期が来たら、早めに残さず収穫する。
- 家庭菜園では、畑に侵入されないために防護柵を設置する。詳しくは、[千葉 獣害対策マニュアル](#)
- 忌避剤は、短期的な使用に限定する。
- 許可なくアライグマ・ハクビシンを捕獲することは法律で禁止されています。捕獲許可は県自然保護課☎223-2972へご相談ください。
- 市では、家庭用の捕獲わなを貸し出しています。環境保全課へご相談ください。



写真提供：農研機構

隙間をくぐり抜けるハクビシン

相談窓口

- 県害虫防除協同組合（駆除業者へ依頼する場合）☎221-0064
- 環境保全課（生活被害でお困りの方）☎245-5195
- 農業経営支援課（農作物被害でお困りの方）☎228-6275

親子で農政センターの見学と収穫体験

農政センター内の施設見学と畑でニンジンの収穫体験を行います。親子で千葉市の農業を学んでみませんか。

日時 12月3日(出)10:00～11:30
会場 農政センター
対象 小学生以下の子どもと保護者
定員 10組（1組4人まで）



申込方法 11月9日(水)必着。Eメールで、必要事項(15面)のほか、参加者全員の氏名・フリガナを明記して、農業経営支援課 keieishien.AAC@city.chiba.lg.jpへ。FAXも可。

問農業経営支援課 ☎228-6271 FAX228-3317

ちば男女・みらいフォーラム2022講演会**性別を越えて～自ら考え選ぶ生き方**

12月5日～11日は千葉市男女共同参画週間です。マンガ家の里中満智子さんの講演会を開催します。

日時 12月11日(日)14:00～15:30
会場 蘇我コミュニティセンターハーモニープラザ分館

定員 先着100人

申込方法 Eメールで、必要事項(15面)を明記して、市男女共同参画センター sankaku@f-cp.jpへ。電話も可。

問市男女共同参画センター ☎209-8771 FAX209-8776



里中満智子さん